



がん、心疾患死亡第6位
赤ちゃんの死亡第7位

和歌山県

のり子、今期も
福祉環境委員会で
がんばります



台風4号が紀南地方に上陸しましたが皆様方には被害などございませぬか。梅雨時期と同時に台風の襲来が重なり昨年の豪雨災害がよみがえってきました。一時避難された方もたくさんいらっしゃいます。災害に強い福祉のまちづくりの取り組みが着実に前へ進むように市会議員の皆さんと、いっそう力をあわせてまいります。

さて、現在、6月定例議会の真ん中です。今期も引き続き、福祉環境委員会の所属にきまりました。この26日と27日(予備日)に委員会が開催されます。本会議の一般質問とあわせて、皆さんのご意見やご要望を議会の場に届けることができます。福祉や

環境に関する暮しの声をお寄せ下さい。私の方からは読者の皆様に県の情報などをお届けしたいと思います。県からはその都度さまざまな資料が郵送されてきます。最近では昨年の県の人口動態統計の概要が送られてきました。出生数は7,460人で前年の7,587人より127人減少しています。一方、亡くなられた方は12,310人で、261人増加しています。和歌山県はがんや心疾患で亡くなる方の数は全国6位と高位です。生後1年未満に亡くなった赤ちゃんの数は全国第7位、生後4週未満では全国2位という結果ができました。安心して子育てができるまちづくりのためにこの原因を質してまいります。

民・自・公3党合意は前代未聞の暴挙

15日深夜に高級ホテルで民主・自民・公明3党が消費税増税を押し付け、社会保障は大改悪で「合意」しました。自民党の言い分を丸呑みした「社会保障制度改革推進法案」は、社会保障の基本理念、医療、年金、介護、生活保護などの「改革」の方向を規定したまったくの「新法」です。社会保障は「自助」「自立」を基本に公費の支出を減らすという憲法25条を否定するものです。こんな「新法」を国会に諮らず3党合意だけで、国会会期末に提案いきなり「採決」だという。まさに議会制民主主義をぶっ壊す前代未聞の暴挙です。この問題はいま「赤旗」日刊紙で連日詳報中です。私たちの反撃はなんとしても次期総選挙で勝つこと。そのために党員・後援会員と「赤旗」読者の輪を広げることです。ご協力お願いします。

のり子の週間予定

- 6月22日 県議会一般質問日
 - 23日 地域訪問、調査
 - 24日 地域訪問
 - 25日 県議会一般質問日
 - 26日 県議会常任委員会、
 - 27日 県議会常任委員会予備日
 - 28日 県議会、無料生活相談日
- (先週号本欄は今週号の誤りでした)

リレートーク
relay talk



党市議会議員
南畑 さちよ

絶対撤回すべきであるということ。第一に、業者が産廃処分場計画の提出に義務づけられている降水量のデータ

滝畑産廃

17年前にあった滝畑川の氾濫



平成7年7月4日の滝畑川の大洪水

大規模伐採は大洪水の不安

滝畑地域の降水量を正確にあらわしたものでなく、和歌山気象台にはデータが存在しないこと。このことをふまえて、森林法との関係で、県の対応まかせにするのではなく、和歌山市自身が、専門的判断を出来るよう独自の対策をし、住民不安に積極的に応えることを強く要望しました。